

○変更契約報告(1月分)

1	高島漁港改修工事
2	大飛島港1号係船岸長寿命化工事
3	伏越港駐車場整備工事
4	見崎排水路改修工事
5	市道金浦用之江線概略設計業務
6	市道尾坂87号八重垣仁後谷線測量設計業務
7	相生トンネル定期点検業務
8	旗涯地排水路測量設計業務
9	市道東大戸220号田淵才崎線測量設計業務
10	旗涯地川河川改修工事
11	路面下空洞調査業務
12	木山捷平生家維持補修工事
13	農道吉浜145号上ノ町壱号塩浜壱号線測量設計業務
14	市道大井南62号線道路災害復旧工事
15	陶山川河川改修工事
16	北川分団第1部消防機庫建設工事
17	北木西公民館外壁改修工事

変更契約報告書

1 工 事 名	高島漁港改修工事
2 工 事 位 置	笠岡市 高島 地先
3 契 約 者	板本組
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市神島外浦2885番地の18
5 工 種	土木一式
6 工 事 内 容 (概 要)	防波堤設置工 セルラーブロック据付工 L=45m 基礎捨石工 V=870m ³
7 当 初 の 契 約 金 額	¥42,020,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	¥42,933,000
9 当 初 の 工 期	令和元年8月9日 ~ 令和2年2月21日
10 変 更 後 の 工 期	— ~ —
11 変 更 理 由	セルラーブロック製作に伴い、製作ヤードの不陸調整を行っていた均しコンクリートの処分が必要となったため、撤去及び処分を新規に計上するため。

変更契約報告書

1 工 事 名	大飛島港1号係船岸長寿命化工事		
2 工 事 位 置	笠岡市	大飛島	地先
3 契 約 者	(有)大島組		
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市西大島字夏目4856番12		
5 工 種	土木一式		
6 工 事 内 容 (概 要)	係船岸保全工 L=19.2m		
7 当 初 の 契 約 金 額	¥6,600,000		
8 変 更 後 の 契 約 金 額	¥6,215,000		
9 当 初 の 工 期	令和元年10月4日	~	令和2年3月27日
10 変 更 後 の 工 期	—	~	—
11 変 更 理 由	現地調査の結果、起点部分の周辺が岩盤であったため、基礎捨石の必要がなく取りやめとするため。		

変更契約報告書

1 工 事 名	伏越港駐車場整備工事
2 工 事 位 置	笠岡市 五番町 地内
3 契 約 者	伊藤建設(株)
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市一番町5番地の6
5 工 種	土木一式
6 工 事 内 容 (概 要)	駐車場整備 L=80.5(変更前82)m W=5.0m
7 当 初 の 契 約 金 額	¥5,863,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	¥6,017,000
9 当 初 の 工 期	令和元年10月4日 ~ 令和2年2月28日
10 変 更 後 の 工 期	— ~ —
11 変 更 理 由	施工前に行った測量調査の結果、現況の地盤高が計画より低い箇所があったため、盛土の数量が増となるため。

変更契約報告書

1 工 事 名	見崎排水路改修工事
2 工 事 位 置	笠岡市 神島 地内
3 契 約 者	伊藤建設(株)
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市一番町5番地の6
5 工 種	土木一式
6 工 事 内 容 (概 要)	水路工 L=81.3m
7 当 初 の 契 約 金 額	¥2,860,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	¥2,277,000
9 当 初 の 工 期	令和元年9月6日 ~ 令和2年1月31日
10 変 更 後 の 工 期	— ~ —
11 変 更 理 由	集水柵の設置について、当初計画では現場打ちとしていたが、現況道路が狭小であり床掘等の作業が困難なため、既製品の集水柵に変更するため。

変更契約報告書

1 業 務 名	市道金浦用之江線概略設計業務
2 業 務 位 置	笠岡市 吉浜 地内
3 契 約 者	(株)エスペック
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市生江浜826番地の8
5 業 種	測量
6 業 務 内 容 (概 要)	測量業務 設計業務 用地測量 A=1.3万㎡ 道路概略設計 L=220m W=5.0m
7 当 初 の 契 約 金 額	¥473,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	¥550,000
9 当 初 の 期 間	令和元年9月20日 ~ 令和2年1月31日
10 変 更 後 の 期 間	— ~ —
11 変 更 理 由	概略設計した結果、用地測量の数量が増となったため。

変更契約報告書

1 業 務 名	市道尾坂87号八重垣仁後谷線測量設計業務
2 業 務 位 置	笠岡市 尾坂 地内
3 契 約 者	(株)山陽KSC
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市大井南53番7
5 業 種	測量
6 業 務 内 容 (概 要)	測量業務 現地測量 A=3,900㎡ 路線測量 L=110m 用地測量 A=7,200㎡ 設計業務 道路詳細設計 延長 L=100m 幅員 W=5.0m 橋梁概略設計 延長 L=10m
7 当 初 の 契 約 金 額	¥4,730,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	—
9 当 初 の 期 間	令和元年9月19日 ~ 令和2年1月31日
10 変 更 後 の 期 間	令和元年9月19日 ~ 令和2年3月27日
11 変 更 理 由	地元協議(概略設計の修正)に不測の日数を要したため。

変更契約報告書

1 業 務 名	相生トンネル定期点検業務
2 業 務 位 置	笠岡市 笠岡・相生 地内
3 契 約 者	(株)エイト日本技術開発中国支社
4 契 約 者 の 住 所	岡山市北区津島京町3丁目1番21号
5 業 種	その他
6 業 務 内 容 (概 要)	道路トンネル定期点検業務 道路トンネル点検 L=515m 維持管理基本計画の作成 1式
7 当 初 の 契 約 金 額	¥4,730,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	¥4,752,000
9 当 初 の 期 間	令和元年9月5日 ~ 令和2年1月31日
10 変 更 後 の 期 間	— ~ —
11 変 更 理 由	本業務路線は昼間の交通量が多く、警察と協議した結果、現地点検業務を夜間に行うこととし、また、調査の結果、トンネル覆工コンクリートのひびわれ密度の数値が減となったため。

変更契約報告書

1 業 務 名	旗涯地排水路測量設計業務
2 業 務 位 置	笠岡市 茂平 地内
3 契 約 者	(株)エスペック
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市生江浜826番地の8
5 業 種	測量
6 業 務 内 容 (概 要)	測量設計業務 基準点測量 N=2点 現地測量 A=800㎡ 路線測量 L=40m 用地測量 A=1,400㎡ 設計業務 河川詳細設計 L=40m
7 当 初 の 契 約 金 額	¥1,980,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	—
9 当 初 の 期 間	令和元年10月4日 ~ 令和2年1月31日
10 変 更 後 の 期 間	令和元年10月4日 ~ 令和2年3月31日
11 変 更 理 由	地元地権者との協議に不測の日数を要したため。

変更契約報告書

1 業 務 名	市道東大戸220号田渕才崎線測量設計業務		
2 業 務 位 置	笠岡市	東大戸	地内
3 契 約 者	(株)山陽KSC		
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市大井南53番7		
5 業 種	測量		
6 業 務 内 容 (概 要)	測量業務 基準点測量 N=7点 現地測量 A=7400㎡ 路線測量 L=350m 用地測量 A=11400㎡	設計業務 道路詳細設計 L=350m	
7 当 初 の 契 約 金 額	¥7,480,000		
8 変 更 後 の 契 約 金 額	—		
9 当 初 の 期 間	令和元年7月18日	～	令和2年1月31日
10 変 更 後 の 期 間	令和元年7月18日	～	令和2年3月27日
11 変 更 理 由	概略設計を行う上で、地元からの要望についての検討に不測の時間を要したため。		

変更契約報告書

1 工 事 名	旗漕地川河川改修工事
2 工 事 位 置	笠岡市 茂平 地内
3 契 約 者	理研技工(株)
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市東大戸743番地
5 工 種	土木一式
6 工 事 内 容 (概 要)	河川改修工事 L=63m
7 当 初 の 契 約 金 額	¥7,051,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	—
9 当 初 の 工 期	令和元年7月18日 ~ 令和2年1月31日
10 変 更 後 の 工 期	令和元年7月18日 ~ 令和2年3月31日
11 変 更 理 由	本河川に流入する各宅地からの排水処理について、地元協議に不測の日数を要したため。

変更契約報告書

1 業 務 名	路面下空洞調査業務
2 業 務 位 置	笠岡市 笠岡 外 地内
3 契 約 者	国際航業株式会社 岡山営業所
4 契 約 者 の 住 所	岡山市北区西古松西町5番6号
5 業 種	その他
6 業 務 内 容 (概 要)	調査業務 一次調査(空洞探査車) L=35km 二次調査(ハンディ型地中レーダ等測定)N=11箇所 二次調査(スコープ調査) N= 7箇所
7 当 初 の 契 約 金 額	¥8,679,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	—
9 当 初 の 期 間	令和元年9月13日 ~ 令和2年1月31日
10 変 更 後 の 期 間	令和元年9月13日 ~ 令和2年2月28日
11 変 更 理 由	二次調査数量が増えたため。

変更契約報告書

1 工 事 名	木山捷平生家維持補修工事
2 工 事 位 置	笠岡市 山口 地内
3 契 約 者	室田建設(株)
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市吉田435番地の2
5 工 種	建築一式
6 工 事 内 容 (概 要)	建築工事一式
7 当 初 の 契 約 金 額	¥1,298,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	¥1,331,000
9 当 初 の 工 期	令和元年12月13日 ~ 令和2年2月7日
10 変 更 後 の 工 期	— ~ —
11 変 更 理 由	便所棟西面の柱が根腐れを起こしており、また柱を取替えると接する土壁が崩れるため、添え柱による補強を行うため。

変更契約報告書

1 業 務 名	農道吉浜145号上ノ町壱号塩浜壱号線測量設計業務
2 業 務 位 置	笠岡市 吉浜 地内
3 契 約 者	(株)エスペック
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市生江浜826番地の8
5 業 種	測量
6 業 務 内 容 (概 要)	測量業務 基準点測量 N=4(3)点 現地測量 A=3,000(2,800)m ² 路線測量 L=150(140)m 用地測量 A=17,300(17,300)m ² 設計業務 道路詳細設計 L=150(140)m W=5.0(3.0)m
7 当 初 の 契 約 金 額	¥3,850,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	¥4,257,000
9 当 初 の 期 間	令和元年9月13日 ~ 令和2年1月31日
10 変 更 後 の 期 間	— ~ —
11 変 更 理 由	当初計画では道路幅員W=3.0mで設計していたが、地元協議の結果、W=5.0mとなったため。

変更契約報告書

1 工 事 名	市道大井南62号線道路災害復旧工事		
2 工 事 位 置	笠岡市	大井南	地内
3 契 約 者	(株)枅平組		
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市笠岡5286番地		
5 工 種	土木一式		
6 工 事 内 容 (概 要)	道路災害復旧工 L=35.0m W=4.0m		
7 当 初 の 契 約 金 額	¥40,500,000		
8 変 更 後 の 契 約 金 額	¥49,179,000		
9 当 初 の 工 期	平成31年3月18日	~	平成31年3月29日
10 変 更 後 の 工 期 ①	平成31年3月18日	~	平成31年10月31日
10 変 更 後 の 工 期 ②	平成31年3月18日	~	令和2年1月31日
11 変 更 理 由	現地を掘削したところ湧水が多く、崩積土を掘削するのみだと盛土を施工できないため掘削量を増とし、それにともない盛土量と残土処分が増となり、また、湧水については管渠工を追加して処理することとしたため。		

変更契約報告書

1 工 事 名	陶山川河川改修工事
2 工 事 位 置	笠岡市 金浦 地内
3 契 約 者	藤原組
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市吉浜2330-7
5 工 種	土木一式
6 工 事 内 容 (概 要)	河川改修工事 L=51.9m
7 当 初 の 契 約 金 額	¥3,014,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	¥3,102,000
9 当 初 の 工 期	令和元年9月27日 ~ 令和2年1月31日
10 変 更 後 の 工 期	— ~ —
11 変 更 理 由	水路設置時において、隣接地の構造物に影響を与える恐れがあるため、水路の法線と構造の変更を行い、また、仮設工においてガードパイプの撤去・設置が必要となったため変更を行う。

変更契約報告書

1 工 事 名	北川分団第1部消防機庫建設工事		
2 工 事 位 置	笠岡市	走出	地内
3 契 約 者	室田建設(株)		
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市吉田435番地の2		
5 工 種	建築一式		
6 工 事 内 容 (概 要)	建築工事 鉄骨造平屋建て 106.35㎡他		
7 当 初 の 契 約 金 額	¥31,680,000		
8 変 更 後 の 契 約 金 額	¥31,427,000		
9 当 初 の 工 期	令和元年7月16日	~	令和2年1月31日
10 変 更 後 の 工 期	—	~	—
11 変 更 理 由	外壁の押出成形セメント板が納入困難なため、ALCパネルに変更し、また、建物位置の変更に伴い外構工事に変更となるため。		

変更契約報告書

1 工 事 名	北木西公民館外壁改修工事
2 工 事 位 置	笠岡市 北木島町 地内
3 契 約 者	小堀建設(株)
4 契 約 者 の 住 所	笠岡市二番町5番地
5 工 種	塗装
6 工 事 内 容 (概 要)	工種 : 塗装工事 1式 (外壁・軒裏シリコン塗, コーキング打替え) 変更後工種: 塗装工事 1式 (外壁・軒裏シリコン塗, コーキング打替え, 外壁クラック補修, 階段裏補修, 樋塗装)
7 当 初 の 契 約 金 額	¥3,520,000
8 変 更 後 の 契 約 金 額	¥3,916,000
9 当 初 の 工 期	令和元年12月20日 ~ 令和2年2月28日
10 変 更 後 の 工 期	— ~ —
11 変 更 理 由	外壁にクラックが見られるため補修し, また, 詳細調査により階段裏の爆裂が著しいことが判明したため, 工法の変更及び工種を追加するため。